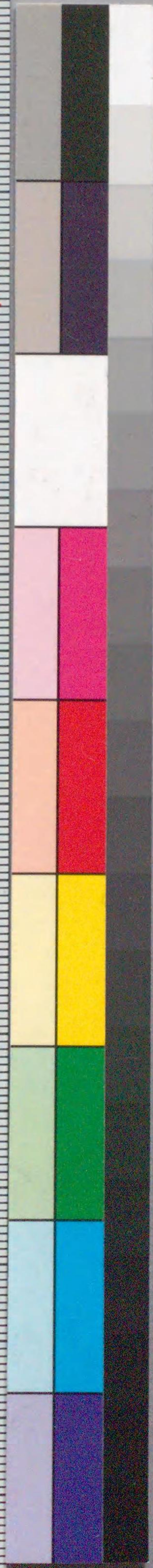


人心鏡寫繪

207
364



国立国会図書館 人心鏡写絵 : 3巻 207-364

ガラス使用

207
364

寛政 八丙辰 春目出度日

山東京傳誌



叙

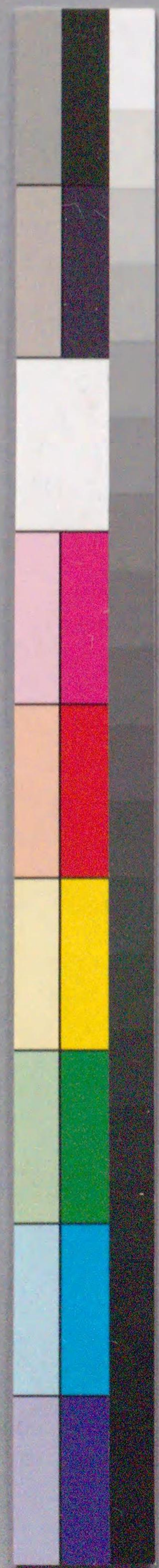
工粉楼照魔鏡あり。忠臣蔵子阿房鏡あり。髪頭
 抜鏡れ凹たる。懐中鏡の四角ある。已恍惚鏡迷ふのも。
 水鏡も悟るの色人の心乃己のまじぐ。或ハ照り或ハ曇り鬼
 も佛色うつせバハ胸の鏡は善悪邪正と竹杖同く
 振り出せ。譬々喻方便れ靈液より。思ふにけつるの鏡。
 出く写し讀本なり。多うおくつる解史と
 なり。人心鏡回繪と標題とふくまへり。



烟草入見世おつて

















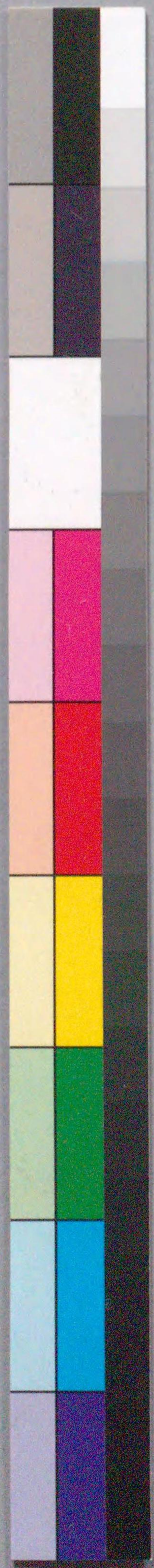




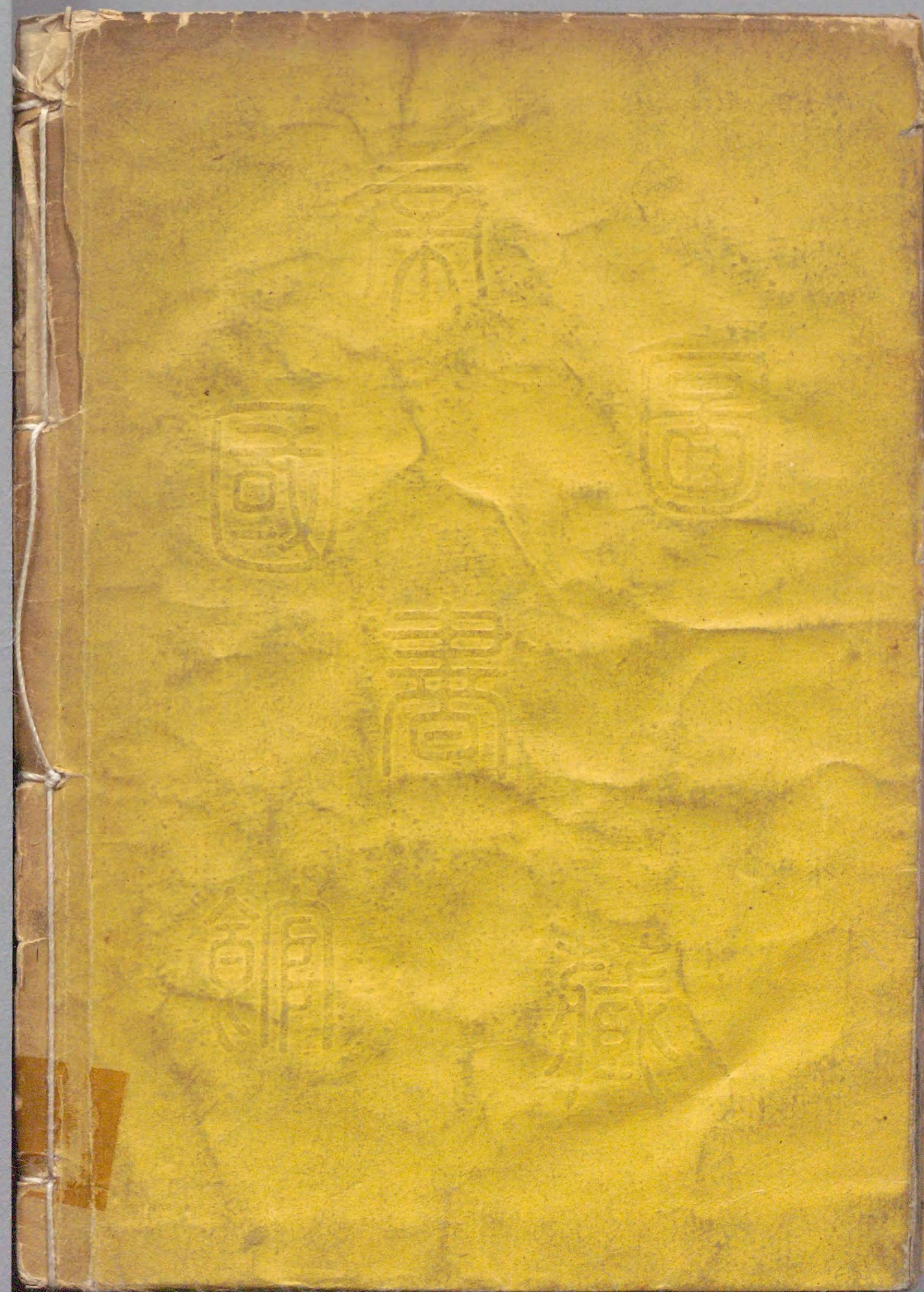


207
364





国立国会図書館 人心鏡写絵：3巻 207-364



ガラス使用

